



私たちの市民病院

島田市民病院の現状と課題② ①政策推進課 ☎ 36-7191

前回は、島田市民病院（以下、市民病院）の建て替えを進めていくことをお伝えしました。新病院建設は、市にとって最も大きな事業であり、その推進にあたっては、市民一人ひとりが「どんな市民病院が必要なのか」といった意識を持つことが大切です。そこで今回は、市民病院の果たしている役割や現在の課題など、市民病院の現状についてお知らせします。



島田市内で唯一の病院です！

市内に、入院設備のある病院は、市民病院しかありません。

(※20床以上を有する医療法上の病院)

救急医療機関として地域を支えます！

救急センターでは、365日休むことなく、救急患者を受け入れています。



	延べ入院患者数	延べ外来患者数
島田市	110,469人	189,114人
川根本町	9,954人	13,908人
吉田町	5,233人	8,587人
牧之原市	8,238人	13,182人
藤枝市	6,167人	11,610人
焼津市	5,042人	6,763人
その他	4,428人	7,349人
一日平均	409.7人	1022.5人

【表1】平成24年度実績（資料：経営企画課）
※ 延べ患者数は、人数×日数で算出。

地域の中核病院です！

志太榛原地域の中核医療機関として、さまざまな地域からの患者さんを受け入れています。

市 市民病院は、市内で唯一の病院として、私たちの健康を支えています。

【市民病院の役割】

▼災害拠点病院です

突発的な災害による救急患者の受け入れに備えて、医療トリアージ、応急処置、広域搬送などの訓練を毎年実施しています。

▼地域医療支援病院です

地域の診療所との連携を強くし、かかりつけ医と共同して診療にあたっています。

▼志太様原医療圏で唯一の感染病床があります

「第二種感染症指定病院」として、新型インフルエンザや

【お知らせ】市民病院ホームページには、病院の最新情報に掲載されています。職

員手作りの「温かな病院たより」を、ぜひご覧ください。



http://www.municipal-hospital.shimada.shizuoka.jp/

新型コロナウイルスなどに備えています。また、数少ない結核病床も有し、志太様原圏内の患者さんも受け入れてあります。

▼市内で唯一の療養病床があります

急性期の一定の治療を終えた人で、在宅や施設などに入所されるまでの入院に対応しています。

▼回復期リハビリテーション病床があります

社会復帰のための機能回復訓練を実施しています。

市 市民病院は「地域医療に貢献する」病院です。

▼地域の基幹病院として、一般医療だけでなく、救急医療、高度医療、小児・周産期医療など、地域に必要な医療を担っています。

これらの医療は、医師の負担も大きく、病院経営の面から見ても厳しいものですが、地域医療を担う市民病院の重要な役割として、引き続き維持していかねければなりません。

厳 しい診療体制の中、スタッフは奮闘しています。

▼平成16年度からスタートした医師臨床研修制度により、医師の都市部への集中と地方での不

足という「医師の偏り」が生じ、市民病院も医師の確保が極めて困難な状況にあります。このため近年では、診療制限や休止している診療科もあります。

市民病院に勤務する医師のうち、島田市出身の医師は3人しかおらず、多くの医師が、自分の故郷を離れて、医師としての責任感と信念を持って診療を行っています。

また、看護師についても、手厚く質の高い看護体制を維持するため、年度途中の採用も行い、看護師確保に努めています。人員に余裕がないのが現状です。このような厳しい診療体制の中、医療スタッフは、患者さんやその家族の方からの信頼、感謝の言葉や笑顔を支えに頑張っています。

市 市民病院の経営状況は、3年連続の黒字です。

▼市民病院では、平成20年度に策定した「市立島田市民病院改革プラン」に基づき、経費削減などに取り組んできました。また、平成23年には、経営形態を変更に進めてきています。これらの結果、経営状況は大幅に赤字が減少し、平成22年度には、11年ぶりに黒字となりました。

平成23年度も黒字決算となりましたが、平成24年度は医師の減少に伴う入院患者の減などにより、黒字は縮小しました。今後も、一層の健全経営に努力していきます。

新 病院建設を進める上で、今後の志太様原地域の医療を考えることが大切です。

▼新病院を建設する場合、これからの志太様原地域の医療事情がどうなっていくのかを考えて計画しなければなりません。国は「社会保障と税の一体改革」の議論の中で、将来のあるべき医療と介護について、地域での取り組みに対する方向性を示しています。

今後、少子高齢化が進み医療機関を利用する高齢者が増加すれば「高度急性期・一般急性期・慢性期」のように、病床の機能を明確にして、患者の状態に応じた質の高い医療の提供が出来るよう体制を整備するなど、志太様原地域全体の医療体制を視野に入れて検討していく必要があります。

市民病院の現状や、新病院建設に関わる今後の取り組みなどについては、次号の広報しまだでもお伝えしていく予定です。

今回のトピックス

市 市民病院は「第2次救急医療機関」として、365日救急を受け入れていきます。

市民病院・救急センターでは、夜間や休日でも3〜5人の医師が、急性発症した病气やケガに対して救急救命処置や応急処置を行っています。救急医療スタッフは、厳しい勤務状況の中でも確実に対応しています。

市民病院は、島田消防本部管内（島田市・川根本町）からの救急搬送要請はもとより、市外からの救急搬送も受け入れているなど、公立病院として、地域の救急救命の責務を果たしています。

【市民病院救急センター受け入れ実績】

	平成24年度	平成23年度
受診者数	12,227人	13,083人
救急車搬送者数	3,697人	3,936人

【島田市消防本部救急搬送実績】

	平成24年度	平成23年度
救急搬送件数	3,508人	3,378人

※ 島田市消防本部管内